

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市富沢遺跡保存館		
2 指定管理者	公益財団法人仙台市市民文化事業団		
3 指定期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで		
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和5年度 35,392人(前年度比 112.6%) 令和4年度 31,419人(前年度比 142.0%) 令和3年度 22,126人(前年度比 129.1%)		
	《事業》 富沢遺跡の保存・公開事業 旧石器時代の復元林の維持管理事業、年3回の企画展を含む展示事業、普及啓発事業、調査研究事業		
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 113,973千円 (113,048千円) ・ その他市が負担した費用 2,420千円 (2,496千円)		
	《収入》 ・ 使用料収入 8,065千円 (6,952千円) ・ その他収入 166千円 (130千円)		
6 利用者の声	《実施状況》 令和5年12月1日から12月22日まで展示内容や事業内容、職員対応についてのアンケートを実施。その他の期間も体験研修や講座参加者を対象にアンケートを行い、事業内容向上に努めている。		

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針が確立しており、富沢遺跡の保存・公開と旧石器時代の復元林の維持活用等について職員が十分理解している。また、展示事業や体験・講座などの普及啓発事業、学校との連携、資料の保管・調査を通して、本市の歴史文化の保護・向上に資するといった目的を達成している。	27/27
II 施設の運営管理体制	職員の勤務実績、配置状況は適切であり、事業計画書に基づいて開館し、指定管理料も適正に執行されている。個人情報の保護や事故防止対策、事故・災害発生時の対応体制も確立され、事故等発生時には所管課へ迅速に報告書が提出されている。また、隔週で行う職員のうち合わせにおいて、連絡事項だけでなく、研修内容や問題事項およびその対応マニュアルについての情報共有が徹底されている。	24/24
III 施設・設備の維持管理	建物や設備、備品は適切に管理され、利用者にとって快適かつ安全に過ごせる環境を保持し、紙・ファイルのリサイクルや節電・節水など、仙台市環境行動計画に則った取り組みが行われている。地下展示室の遺構保存については、日常の温湿度管理や観察とともに保存処理検討会の指導を受けながら、適切に管理されている。2万年前の森を復元した野外展示「氷河期の森」についても、日常的な観察とともに植生検討会の指導を受けながら、病害虫の駆除や植栽の手入れを行い、適切に維持されている。	24/24
IV サービスの質の向上	職員の接客マナーや受付・案内は適切であり、標準的な業務はマニュアル化されている。職員の教育・研修も適宜行われ、利用者アンケートの結果等は定例のミーティング等を通じて共有し、改善を図っている。また、広報においては、近隣町内会への積極的な情報発信のほか、ホームページやFacebook・YouTube等のウェブ上の広報媒体を通じて幅広い世代に情報を発信し、広報活動にも積極的に取り組んでいる。	28/28

<p>V 施設固有の基準</p>	<p>協定書や仕様書等に従って適切に施設を管理するとともに、事業計画書に基づき適切に事業を実施している。学校・NPOなどの外部機関と連携して事業を展開しているほか、ボランティアによる積極的な活動など、地域社会と良好な関係を維持している。また、普及啓発事業(自主財源事業)について下記の取り組みを加点評価する。</p> <p>(1)「ミュージアムシアター 狩人登場」 この事業は、地下遺構にみられる焚火や石器づくりといった人類活動の痕跡を、演劇的手法を通じて来館者に実際的かつ印象的に示すことができる展示である。解説によらず演者の身振り・手振りにより当時の人々やその暮らしがイメージできる内容となっており、幼い子どもから大人まで世代を問わず高い普及効果があり、旧石器時代のような肌で感じるだけでなく、博物館や遺跡に接する楽しさも体感できる興味深い内容といえる。文字を媒介としない展示手法であることから、特に児童に人気がある。学校利用学習の際には、グループごとに異なる演出を見せて、学校に戻ってからの話題づくりにも貢献している。</p> <p>内容に独自性があり、かつ公演ごとに演者と館スタッフで課題を探り、回数を重ねるごとに内容を充実させている。公演時の感染症対策に工夫を凝らしながら多くの観覧者を満足させ、新たにVR動画のオンライン配信も実施するなど、新鮮で魅力的な展示が発展しながら継続されている点を評価する。</p> <p>(2)「森の響き」 この事業は2日間に分けて行われ、そのうち1日目は夜間の屋外展示「氷河期の森」の魅力を星座および現代音楽を通して多面的に来館者に伝える事業である。近隣団体および市内ゆかりの著名なアーティストと連携することにより、屋外展示の魅力を新たな側面から伝えるものである。2日目は、屋内地下遺構展示室において近隣高校音楽部によるコンサートを開催する事業で、展示室の魅力や利活用の幅を広げるものである。いずれも地域と連携し、歴史文化だけでなく自然・芸術への関心も深め、新たな利用者の増加にもつながる取組として評価できる。</p>	<p>15/14</p>
------------------	--	--------------

三 評価総括

<p>《指定管理者（公益財団法人仙台市市民文化事業団）による自己評価》</p>	
<p>管理運営にあたっては、所管課と協議しながら、協定書等に基づき適切に行った。新型コロナウイルス感染拡大防止対策は、来館者・館スタッフの安全安心を重視しながら、仙台市のガイドライン等に基づいた見直しを行い、事業の再開を進めた。旧石器時代に関連する展示、学校教育活動や生涯学習活動を支援する場としての活動や事業を行った。また空調機器・衛生設備・消防防災設備の修繕・改修等、長寿命化改修工事を念頭に施設・設備の管理を心掛けた。</p> <p>事業は、コロナ禍で減衰した事業内容、学校利用やボランティア活動等の回復・活性化を特に意識して実施した。4年ぶりとなる特別企画展や地底の森フェスタ事業の開催、学校対応と関連付けた実施方法や新たな演出方法を開発した他、動画作成等にも取組み、より多くの来館者・市民に向けたアピールを行い、好評を得た。また、国際的学術交流を推進させるために、韓国「全谷先史博物館」と国際文化交流協約を締結した。特に自主財源事業「ミュージアムシアター 狩人登場」は平成26年以来継続中で新たなコンテンツの開発等を進め、来館者に好評を得るなど新たな展示普及活動にも取り組んでいる。</p> <p>今後も社会動向に留意しながら、生涯学習施設としての機能強化、地域住民と連携・協力し、地域の魅力を現出させる活動等を推進していく。また各地のミュージアム等と連携し、オンラインも活用しながら富沢遺跡の意義・価値の創出と発信を心掛け、仙台市の文化行政の一端を担っていく。</p>	

<p>《施設設置者（仙台市）による評価》</p>	<p>総合評価</p>
<p>施設の管理運営体制については、協定書や仕様書等に基づき適切に業務が行われている。施設の維持管理については、建物や設備の老朽化がみられるなかで日常的な監視を続け、災害や老朽化による設備の異常があった場合にも迅速に対応している。富沢遺跡の保存管理については、温湿度や塵埃等の日常管理と観察を継続し、旧石器時代の復元林についても日常管理を欠かさず、どちらも専門家の指導を受けて適切な手法による維持管理を実施している。今後も遺跡の保存と施設の安全性の向上を図りながら、引き続き長期的な施設の管理・改修計画を検討することを望む。</p> <p>利用者数は令和4年度に続いて増加している。調査研究活動においては、韓国の博物館と国際文化交流協約を締結し、学芸員を派遣するなど積極的な学術交流を行っている。</p> <p>普及啓発事業については、小中学校の利用学習や出前授業等を通じて学校連携や多様な学習機会が提供されている。さらに独自性の強い自主財源事業への取り組みは高く評価され、広く市民の学習活動を支援するという点で、設置目的にも合致しているといえる。また、Facebook・YouTube等の広報ツールが積極的に活用されている。今後、地下展示室等でのデジタル機器の活用による新たな展示手法の開拓も期待される。</p>	<p>S</p>

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

<p>特記事項</p>
<p></p>

◎ 評価担当課(施設所管課):教育局生涯学習部文化財課